多文化共生、地域日本語教育・年少者日本語教育、日本語教員養成等に関する活動一覧

名前［　　　　　　　　　　］

※　経験がない場合は「なし」と記入してください。　A４で１枚以内に収めてください。　次ページに「記入例」があります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 組織・団体等の名称および期間 | 主な内容 | 自身の役割 |
| ①多文化共生に関わる活動 |  |  |  |
| ②地域日本語教育、又は、年少者日本語教育に関わる活動 |  |  |  |
| ③日本語教員養成に関わる活動 |  |  |  |
| ④その他、上記以外の活動 |  |  |  |

記入例　多文化共生、地域日本語教育・年少者日本語教育、日本語教員養成等に関する活動一覧

名前［　○○　○○　］

※代表的なもの１つのみを書いてください。経験がない場合は「なし」と記入してください。A4で１枚以内に収めてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 組織・団体等の名称および期間 | 主な内容 | 自身の役割 |
| ①多文化共生に関わる活動 | 「○○市 多文化共生推進プラン」策定委員会  （2018年4月〜2019年3月） | 外国人住民の自立と社会参画を進めるための環境を整備すること、また、多文化共生を推進するための体制を整備することの２点を柱とする「○○市　多文化共生推進プラン」の策定に委員として携わった。 | 同委員会の委員として、市内の外国人児童生徒の教育問題を中心に現状の課題と新たな取り組みを提案した。その一部は、同プランの「施策目標２：外国人児童生徒の学習支援」に取り入れられた。 |
| ②地域日本語教育、又は、年少者日本語教育に関わる活動 | ○○県○○市教育委員会主催「子ども日本語教室」  （2015年4月〜2015年9月） | ○○市「子ども日本語教室」は、同市立小学校に通う外国にルーツの子どもたちを対象として週1回（土曜日）、同市役所で開催された。私は○○市の依頼を受け、この日本語教室（計12回）を企画・運営および支援者の研修を行った。 | システムコーディネーターとして、週1回60分×12回×2クラスのコースデザインを行い、4回の授業を担当した。また、同教室に参加する日本語支援者（有償ボランティア）４名に対する事前研修（3回）を担当した。 |
| ③日本語教員養成に関わる活動 | ○○大学・○○学部・日本語教師養成課程  （2017年4月〜現在） | 同学部の学生（1〜4年生）約80名を対象とした日本語教師養成課程の主任として、全体のコーディネートを行っている。同課程は、例年15名程度の有資格者を輩出し、2名程度の日本語教育能力検定試験の合格者を出している。 | 同課程の主任として、文化庁への届け出・やり取り、科目の編成・整備、担当教員との連携等を行っている。また、新規登録者へのオリエンテーションの担当や、３〜４年生を中心にとしたキャリア支援のための助言等を行っている。 |
| ④その他、上記以外の活動 | ○○市国際交流協会「多言語情報支援センター」  （2014年4月〜2018年3月） | 同「多言語情報支援センター」では、英語、中国語、ベトナム語などの８言語と「やさしい日本語」で住民への情報支援を行っている。この多言語化とやさしい日本語化に携わった。 | 委託業務として、同センター「防災マニュアル」のベトナム語への翻訳に協力した（2014年4月〜2015年3月）。また、同センター広報紙（月刊）の「やさしい日本語」版を監修した（2015年4月〜2018年3月）。 |